

福島衛生新報

毎月三回発行
 定価一部五錢
 福島縣平町長橋町五十六
 編輯發行 佐藤興全
 兼印刷人 佐藤興全
 福島縣平町長橋町五十六
 發行所 福島衛生新報社
 廣告料 一行三十錢
 場所指定 十錢増

榮養劑の展望(二)

グイタミンの眞價

藥劑師 山野邊東次郎氏談

世に藥の數ほど多いものはないが、中でも滋養劑とか、榮養劑とか、或は回春強精劑とか呼ばれるもの、數は數へ切れなほ、澤山あります。

この滋養劑または榮養劑といふものを大別すると、先づ肉を材料とした肉製劑、それから牛乳製劑、卵蛋白製劑、植物蛋白製劑、脂肪及び類脂肪製劑、含水炭素製劑、混合榮養劑、清涼劑、臟器製劑、グイタミン製劑、最近流行の酵素製劑等に、所謂多士も純粹であり、服用にも少量で済むの觀を呈して居ります。

此の多數の榮養劑の中でもグイタミン製劑は比較的廉價であり、効果率の多いものであります。で、グイタミンAに就て少しく御話を申しませうか。

此の榮養劑には三つの形式があります、その一つは色々な榮養成分を漠然と綜合したもの。今一つは何等かの榮養成分を含有してゐる原始的なもの、もう一つは特殊な方法で榮養成分のみを抽出して其エッセンスとしたもの。そのいづれが正しいかは別として、このうち効果上から考へて、最後のものが優秀であることは何人も異論のない處であります。

第一のものには主体がハッキリしない爲めに、いつれもが中途半端な効目しか現はさないと、老衰豫防、體力精力の衰弱者、病後回復期、産前後乳汁不足、老衰豫防、體力精力の衰弱者に最も優秀なる効果を有するものであります。此の意味に於てグイタミンAの眞價あること斷言し得るのです。(文責記者)

鼻のクスリチクノール錠
 マルケイグイタミン
 店特約 山野邊藥局

春が一番危険な 潜伏梅毒 神衰弱混同され易い

何病に依らず木の芽時になると今迄体内に潜伏して居た病が起る時で、殊に潜伏梅毒が今一番起り易く、又病勢の進行する時です。従つて今迄一見健康さうに見えた方でも体内に恐ろしい梅毒菌スピロヘータが潜伏して居ると、顔や首筋へニキビの様な吹出物が出来、神経衰弱に襲はれた様に気分勝れず、記憶力や思考力が減退して夜も安眠出来ず、どこが悪いと云つて目立つた症状はないが、一寸の仕事にも直ぐ疲れて永續させぬ様になります。

かう云ふ症状に悩む多くの方々は、一度梅毒に罹り治療はしたが治し切らなかつた方が或は遺

傳梅毒の方で何れにしても恐ろしい梅毒菌スピロヘータが体内に潜伏して居る爲めですから、放つて置くと次第に病勢が悪化して、咽喉がたざれたり、毛髪が抜けたり、聲腹れたり、胃腸を初め心臓、腎臓、肝臓、眼等凡ゆる方面を侵され遂に脳や脊髓まで侵されて歩行がよいになつたり、往々狂ひ死にする痲痺性痲呆となつて一生不幸になります。前記の様の方は一日も早く専門醫の治療を受けるのがよいのですが、驅梅内服薬として古くから販賣されてゐるスピロインなどの服用も有効です。

本年一月中に於ける 傳染病患者死者數

内務省衛生局調査

内務省衛生局の最近調査せる今これで見ると患者の最も多いのは一年一月中における傳染病患者及びデフテリアの二千五百七十七名が死者を見るに、患者は五千九百で、次ぎが腸チブスの一千八百九十五名にしてこれが死者は五十六名であり、死者の最も多き一千一百七十一名にして、死者の約五分の一に相當して名で、次ぎが腸チブスの三百四十六名。今これを各病院別に見れば十一名となつてゐる。

患者	死者
コレラ	一
赤痢	三二四
疫痢	二八六
腸チブス	八五六
バラチフス	一三〇
痘瘡	一
發疹チフス	一
猩紅熱	八七〇
デフテリア	二五二七
流行性腦脊髄膜炎	二二
ペスト	一一

平田町 玉屋洋品店 電話六五六番

平壹丁目 大平屋藥店 電話六四三番

御用命を 杵すしに 電話六七九番

町田平 尚美堂藥店 電話二六八番

江名町町會議員當選御禮

- 黒川喜一郎
- 村山辰次郎
- 佐藤已之藏
- 遠藤勝馬
- 吉田權右衛門
- 近藤吉松
- 太清左衛門
- 金成喜重
- 遠藤俊一郎
- 秋山一郎
- 作山喜作
- 作山庄司
- 加澤一造

東京石綿煙突販賣所 常陸セメント特約店

住吉屋分店 酒井伴城商店

何卒御用命を 電話六六一番

祝 草野局電話開通

今の度草野局に電話開通を見た。
加入者の番號並に加入者氏名は別記掲載の通りだが、役場並小學校等の公營物以外の加入者は、草野村の代表的な商店及び草野村一の素封家である、前代議士高岡唯一郎氏である。
今度の草野局電話開通に關し草野村郵便局長の一方ならぬ努力が報へられて今日の開通の運びを見たのだが電話開通と共に草野村今後の發展こそ祝福すべきであらう。

草野局加入番號二番

高岡文夫氏

文夫氏は現在慶大在學中の秀才にして、故尊父高岡唯一郎氏は政友會代議士として錚々たる人格者であり、村長として永らく村治を統べ、各村長の譽れ高く、また名村長として歌われ村民より慈父の如き尊敬を一身に聚めたる故酒井義孝氏は唯一郎氏の賢兄にして、當主文夫氏の伯父に當り、村民はその徳を慕ひ小學校前に銅像を建立して永久に忘れず追慕の思を偲ぶと言ふ。尊父、伯父共に草野村に於ける功勞者である。

加入番號五番

赤塚自動車部

草野驛前より高久間、即ち草野一高久間の乗合自動車を運轉して交通の尖端に立つ赤塚自動車部は、右路線を毎日三臺の自動車にて毎臺滿員の隆昌を示せしは主人半五郎氏の奮勵努力と従業員諸君に對する温情的訓練による氏の圓滿なる人格の反映でなければならぬ。

加入番號八番

馬目屋吳服雜貨店

草野村にあつて「角屋、馬目」と並び稱せられる吳服、雜貨商であり、その繁昌もまた角屋

加入番號三番

鈴木材木店

鈴木材木店主鈴木松之丞氏は高久村出身、志を立て製材業に従事し、草野驛前に製材工場を設け、遠く岩手縣、双葉、相馬郡と手廣く取引を爲しつゝ、隆々發展の一路に伸張しつゝあり。草野村に於ける唯一の工場として、常磐地方に於ける製材工場中の模範工場である。

加入番號七番

角屋吳服雜貨店

草野驛前に吳服、雜貨商として顧客の股脈を極める角屋吳服雜貨店
村人は如何にこの店を信用し便利を感じて居るか。村人にその評判を聞いて記者は主人公惣次郎氏の全格を窺知することが出来た。

加入番號七番

豊田惣次郎氏

「平町に行かすとも角屋か馬目屋に行けばなんでも用が足りる」として平町より平均して物價が安い云々。この一言で以て商店としての信用を察知するに難くない。

設け一意専心業務の發展を劃しと並び歌われける。
隆々たる業績を残して今日に至り、草野局に電話の開通するや加入して益々今後の地位を固くして行く處に氏の非凡さを知る事が出来る。御用命は必ず……の一般に知れる處。
今回の電話開通に依つて今後の發展を豫約したるものゝ如く。薄利多賣的な經營方針は村民の益々信用する處であり、電話開通後益々繁昌する事を見望して祝福の辭にかへる。

カラエー

松ヶ岡

平南町

常磐ラヂオ店

電話(呼)五三三番

洋服の御用命は
なかや洋服店に
平三丁目
電話二〇三番

平町二丁目
館旅
大村屋
大村一郎
電話一七五番

漢方秘藥 發賣元
山野邊胃腸散
處方調劑
藥品一般
體溫計各種
養蠶用寒暖計
農藥消毒藥品類
化粧品各種
平町五丁目角

山野邊藥局
藥劑士 山野邊東次郎

黒猫

電話六七九番

最上の御酒を
感じ良く……
御安くのむここ
丸新ビル酒泉

祝 草野局電話開通

- | | |
|----|----------------|
| 60 | 局 |
| 8 | 芳賀義雄 (マノメヤ) |
| 7 | 豊田惣次郎 (カドヤ) |
| 6 | 神谷村役場 |
| 5 | 赤塚自動車部 (赤塚半五郎) |
| 4 | 草野小學校 |
| 3 | 鈴木材木店 |
| 2 | 高岡文夫 |
| 1 | 草野村役場 |

平町五丁目
釜屋商店
電話九番・九九番

製パン開始
四月十日ヨリ
十一月十二日……一割引
昨年は意外な好評を戴き感謝いたします。
本年も不相變ず御用命願升。
平五丁目
泉屋菓子店製パン部
電話六六八番